

政策統括官

(統計・情報システム管理、
労使関係担当)

部局の所掌分野

統計調査

厚生労働分野の政策立案に必要な、出生・婚姻・雇用・医療等の国民生活に深く関わる統計の整備・調査に取り組んでいます。

サイバーセキュリティ・情報システム管理

厚生労働行政における情報セキュリティの確保や情報システムの整備を通じて、安全かつ効率的な職場環境の維持と改善に取り組んでいます。

労使関係

安定した労使関係は、経済社会の発展の基礎となるものであり、労使と政府の間での対話促進等に取り組んでいます。

データの活用を通して ひと、くらし、みらいを支える

Our Mission...

政府の政策決定はもとより、自治体や民間企業など社会全体で幅広く利用され社会の発展を支える基礎となる各種統計調査を実施し、公表しています。また、国民の重要な情報資産を預かる立場から、厚生労働行政における情報セキュリティ対策と情報システム整備を進めています。

加えて、労使団体等に係る連絡調整なども行っており、総合的な労働政策の策定と労使関係の安定に寄与しています。

厚生労働行政を支える統計を整備する

証拠に基づく政策立案 (EBPM, evidence-based policy making) を推進するためには、現状を分析するための統計データが重要です。厚生労働省では、人口動態や世帯、医療、社会福祉、労働者の雇用、賃金、労働時間等、幅広い分野に関して大規模な統計調査を実施しています。

その結果は政策の企画立案において大きな役割を果たすとともに、GDP推計や民間の景気判断にも活用されています。

また、WHO (世界保健機関) やOECD (経済協力開発機構) 等の国際機関と協力し、統計データの国際比較等に取り組んでいます。

情報セキュリティの確保や

職場環境のデジタル化を通じて業務効率化を推進する

情報化の発展とともに新たなサイバーセキュリティのリスクや脅威が発生しています。こうした中、厚生労働省では、省内の情報システム運用部門と連携し、サイバー攻撃等を検知した際の初動対応等の支援や、事案の発生から終息に至るまでの状況等を分析し、情報システムの安全性確保、被害の拡大防止対策に取り組むとともに、職員自らが適切な対応を行えるよう、周知・啓発、訓練、研修を通じた理解促進にも取り組んでいます。

また、多様で柔軟な働き方の実現と効率的な職場環境の整備に向けて、業務効率化とペーパーレス化をより一層推進しています。このため、ビジネスチャットツールの活用、テレワーク、Web会議の利用促進などを通じて、デジタル技術を活用した省内システムの整備や安定運用に注力しています。

経済社会発展における労使関係に着目する

現在、春闘での労使交渉における賃上げは、社会的に注目を集めています。しかし春闘では、賃上げ以外にも仕事と家庭の両立支援や高齢者・障害者雇用といった様々な労働条件等も議題とされ、労使交渉が行われています。

また、労使関係においては、労働組合のストライキも社会で注目されています。

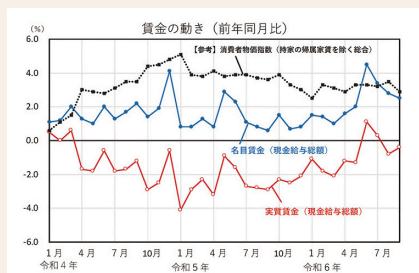
厚生労働省では、このような春闘やストライキに関する情報等を労使団体から日々情報収集し、政策課題の解決や政策立案のために活用しています。

Hot Topics

統計から分かる賃金の推移

下のグラフは、全国の事業所における労働者一人当たりの賃金の動向を表したものです。毎月勤労統計調査では、毎月の名目賃金の結果のほか、名目賃金から物価の変動を取り除いた実質賃金の結果を公表しており、このグラフからは、実質賃金の対前年同月比が令和6年6月に27か月ぶりのプラスとなったことが分かります。

政府の経済対策において「物価上昇を上回る賃金上昇」が掲げられている中、こうしたデータは政府の賃金政策の方向性を決めるための基礎となっています。



▲ 出典「毎月勤労統計調査」(厚生労働省)
「消費者物価指数」(総務省)